

夜のシーソー

夜の公園で 泣き伏すように
つんのめっているシーソー

にぎやかな子供達も帰って
交互に傾く事が出来ない

ふいに トンと地面をけって
はるかな未来に飛び出した感覚が
爪先に蘇った

こんな期待はずれの未来にたどりつくと
誰が想像したろう
ここにはもう

向い側にすわってくれる少年は何処にもいない

夜の公園で

私の中の

取り残された少女は
ずーっと 寂しさに傾いたままだ

著 西脇たみ恵